

えんちょう通信

No. 8 8

令和 4年12月21日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

地域のみなさんに大事にさせていただいています

12月5日(月)、今年も山岸農園からリンゴをいただきました。今年は一人に4個ずついただいたので、水曜日に2つ、その次の日にまた2つ、子どもたちに配りました。子どもたちは、その立派なリンゴを入れて重たくなったリュックを背負って、嬉しそうに家に帰っていきました。

14日(水)は、クリスマスのお楽しみ会が開かれました。子どもたちの願い通りに、今年もサンタクロースが来てくれました。本当に立派なサンタクロースです。子どもたちは、びっくりするやら嬉しいやらで大騒ぎです。

子どもたちには内緒ですが、今年も二文字屋昇さんがサンタクロースになって、プレゼントをもって来てくださったのです。年少組には、お人形と「宝石ゲーム」を、そして年長組には「ドラえもののボードゲーム」とツイスターを頂きました。寒い冬、室内で楽しく過ごせそうです。

そして19日(月)は、清水地区の交通安全母の会のみなさんが来て、交通安全教室を開いてくださいました。いつものように『わたしは 必ず 止まります。』という約束を、教えていただきました。そして『信号のうた』をみんなで歌い、マジックを見せてもらいました。最後に、お菓子とハンカチなどが入ったお土産をいただきました。このように楽しく交通ルールを教えていただいていることもあって、子どもたちは交通事故にあうことなく元気に過ごすことができているのだと思います。

さらに次の日、20日(火)には、恒例の門松づくりを行いました。先日、餅つきをやってくださった大内直さんに教えていただいて、ミニ門松を作りました。門松も実際に作ったことがあると、縁起物の松や梅やゆずりはなどを飾る意味も、いつかきっと子どもたちにも分かるようになるだろうと思います。

人は昔から節目節目で様々なお祝いや行事をおこない、気持ちを新たにしてきました。大内さんのおかげで、よいお正月を迎えることができます。

子どもたちは、こうやって大切なことを地域のみなさんに繰り返し教えていただいて、大事に育てていただいています。子どもたちは、こういうふうになにに大事にされた経験を通して、「人っていいな。」「信頼できるんだな。」と思うようになっていくのだと思います。そうして自ら人とかかわるようになっていくのだと思います。

